

みやぎのだより

No. 98

みやぎの酪農農業協同組合広報誌

平成29年5月25日



美化コンクール表彰式 最優秀賞 仙南支部 吉田 明美さん

CONTENTS

畜舎環境美化コンクール表彰式・講演会開催……	1	牛群検定～繁殖台帳Webシステムについて～…	7
宮城県酪農協会婦人研修会開催……………	1	輸入粗飼料情勢……………	8
第46回東北酪農発表大会開催される……………	2	ホームページへのグループウェアの構築について…	9
第68回通常総会・地区別説明会の開催について…	2	理事会通信……………	9
平成28年度 生乳需給状況について……………	3	業務報告……………	10
酪農技術シリーズ⑥		人事のお知らせ……………	11
酪農研修会「長命連産に向けて②」報告……………	5	編集後記……………	11

畜舎環境美化コンクール表彰式・講演会開催

指導課

3月15日(水)本所大会議室において、平成28年度畜舎環境美化コンクールの表彰式が行われ、入賞者に賞状と副賞が授与されました。仙南支部の吉田明美さんは、最優秀賞と併せて宮城県知事賞を受賞され、宮城県農林水産部畜産課草地飼料班技術補佐 菅原賢一氏より賞状が授与されました。講演会では、株式会社明治 廣谷華蓮氏より「牛乳の価値向上への取組」と題して講演をいただきました。



組合では、昨年度に引き続き平成29年度環境維持対策事業の一環として、環境保全意識の向上と消費者へのイメージアップを図るため、婦人部の皆様にご協力をいただき、5月下旬に組合員全戸へ花苗配布を行いますのでご協力のほどよろしくお願いいたします。

宮城県酪農協会婦人研修会開催

指導課

3月9日秋保町「仙台秋保温泉岩沼屋」において、酪農婦人の皆さんと酪農乳業関係の女性職員を対象とした宮城県酪農協会主催による「平成28年度酪農婦人研修会」が開催され、みやぎの酪農協、全農宮城県本部、宮城県酪農協、酪農乳業関係から総勢78名が出席しました。

伊藤会長(みやぎの酪農協組合長)の挨拶、(一社)全国酪農協会今関特任参与より祝辞をいただいたあと、佐藤能力開発研究所代表 ヒューマンカウンセラー 佐藤忠男氏から『人生はやっぱり女性次第』～婦人の力は社会の力～と題して講演が行われました。講演は、女性を魅力的に見せる所作、夫婦円満の秘訣などをまるで漫談のような調子で語られ、会場は終始笑いに包まれていました。

講演終了後の懇親会は、和気あいあいとした雰囲気ですべて終了しました。



第46回東北酪農発表大会開催される

指導課

去る3月21・22日秋田県鹿角市の『ホテル鹿角』にて、東北酪農青年女性会議主催による第46回東北酪農発表大会が開催されました。

今大会は、本組合の白石支部の高橋弘さんの後継者、高橋駿太さん(青年部仙南支部)を含め「意見・体験発表の部」4名、「経営発表の部」2名の計6名が揃いました。当日は東北各地から約100名の参加があり、本組合青年部・婦人部からは、8名が参加し、大変有意義な交流の場となりました。

発表しました高橋駿太さんは『自分の目標に向かって牛と共に歩む』と題して、実家に戻った時に感じた理想と現実の違いに悩みながらも、母校の恩師の言葉に励まされ、飼養管理や改善に奮起し、結果が出ることへのやりがいや魅力を発表致しました。

審査の結果、東北各地から選出された酪農家の審査員は満場一致で高橋駿太さんが最優秀賞に輝きました。経営の部は『開拓精神を受け継ぎ、酪農共同体として次世代へと継承～地域営農の持続性を求めて～』と題して発表しました福島県酪農研究連盟の田中進さんが受賞しました。

東北代表者となりました、高橋さん、田中さんは来る7月13(木)、14日(金)に北海道札幌市で開催される全国酪農青年女性会議主催『第46回全国酪農青年女性酪農発表大会』に東北代表として出場し発表しますので、ご参加下さいますよう、よろしくお願いします。



第68回通常総会・地区別説明会の開催について

総務課

下記の日程で開催いたしますので、多数のご出席をお願いいたします。

区 分	開 催 日 時	開 催 場 所	支 部 名
地区別説明会	平成29年6月13日(火) 午前10時30分	柴田郡大河原町 【ララ・さくら】(注)	白石・七ヶ宿・角田・蔵王・柴田・丸森・仙台・名取
	平成29年6月14日(水) 午前10時30分	遠田郡美里町 【みやぎの酪農協】	黒川・大崎・加美・遠田・鳴子・築館・一迫・瀬峰・石巻
	平成29年6月15日(木) 午前10時30分	登米市迫町 【宮城県農業共済組合迫支所】 (旧迫地方農業共済組合)	迫・東和・中田・志津川・本吉・豊里
通 常 総 会	平成29年6月27日(火) 午前10時30分	黒川郡大和町 【まほろばホール】	

(注) 昨年の『村田町中央公民館大ホール』から今年は『ララ・さくら』へ変更になります。

平成28年度 生乳需給状況について

1. 全国(販売乳量)

平成28年4月～3月の受託乳量は7,002,621㍓、前年同期比98.3%減少しました。地域別には、北海道が昨年の台風の影響等で前年を1.1%下回りました。都府県は2.4%下回りました。

平成28年度 全国生乳受託実績

(単位:㍓、%)

地区名	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		平成28年度計	
	前年比		前年比		前年比		前年比		前年比	
北海道	984,933	102.4	961,801	100.7	919,766	98.5	897,612	94.1	3,764,112	98.9
都府県	854,705	98.6	794,074	98.7	796,088	98.8	793,642	94.5	3,238,509	97.6
全国	1,839,638	100.6	1,755,875	99.8	1,715,854	98.6	1,691,254	94.3	7,002,621	98.3

2. 東北(販売乳量)

4月～3月の受託乳量は537,298㍓、前年同期比98.6%と前年を1.4%下回りました。

平成28年度 東北生乳受託・用途別販売実績

(単位:㍓、%)

県	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		平成28年度計	
	前年比		前年比		前年比		前年比		前年比	
青森	15,998	100.8	15,504	99.6	15,242	98.3	15,630	98.9	62,374.0	99.4
岩手	51,932	100.3	49,850	99.0	48,949	98.8	49,104	96.9	199,835.0	98.7
宮城	29,850	98.0	28,398	97.4	28,045	96.5	28,955	98.6	115,248.0	97.6
秋田	7,144	101.2	6,789	100.7	6,565	98.0	6,545	94.7	27,043.0	98.6
山形	16,679	95.5	15,602	96.1	15,183	97.5	15,577	96.0	63,041.0	96.3
福島	18,270	101.3	17,419	103.2	16,926	103.3	17,142	98.8	69,757.0	101.6
計	139,873	99.4	133,562	99.0	130,910	98.6	132,953	97.5	537,298.0	98.6

3. 用途別販売実績

東北の用途別販売実績は、4月～3月の飲用牛乳向け392,359㍓、前年同期比99.3%、特定乳製品向け46,722㍓、前年同期比89.9%となりました。その他の用途別については、はっ酵乳等向け76,827㍓、前年同期比103.2%、チーズ向け2,639㍓、前年同期比86.8%、生クリーム等向け18,735㍓、前年同期比93%となりました。

(単位:㍓、%)

用途	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		平成28年度計	
	前年比		前年比		前年比		前年比		前年比	
総受託販売乳量	139,873	99.4	133,562	99.0	130,910	98.6	132,953	97.5	537,298.0	98.6
飲用牛乳向け	99,436	99.1	98,627	99.1	98,024	99.5	96,272	99.6	392,359.0	99.3
はっ酵乳等向け	21,623	107.2	20,453	106.7	17,036	101.4	17,715	96.8	76,827.0	103.2
特定乳製品向け	13,653	96.5	9,357	88.4	9,915	90.3	13,797	84.5	46,722.0	89.8
生クリーム等向け	4,501	85.4	4,439	92.6	5,230	92.1	4,565	103.7	18,735.0	93.0
チーズ向け	656	85.2	682	81.9	701	88.6	600	92.6	2,639.0	86.8
全乳哺育向け	4	100.0	4	102.2	4	102.2	4	98.9	16.0	100.8

4. 宮城県(販売乳量)

4月～3月の受託乳量は115,247ト、前年同期比97.6%と2.4%の減少となりました。また、3月の出荷戸数は520戸と前年より22戸の減少となりました。

平成28年度 宮城県生乳受託販売実績

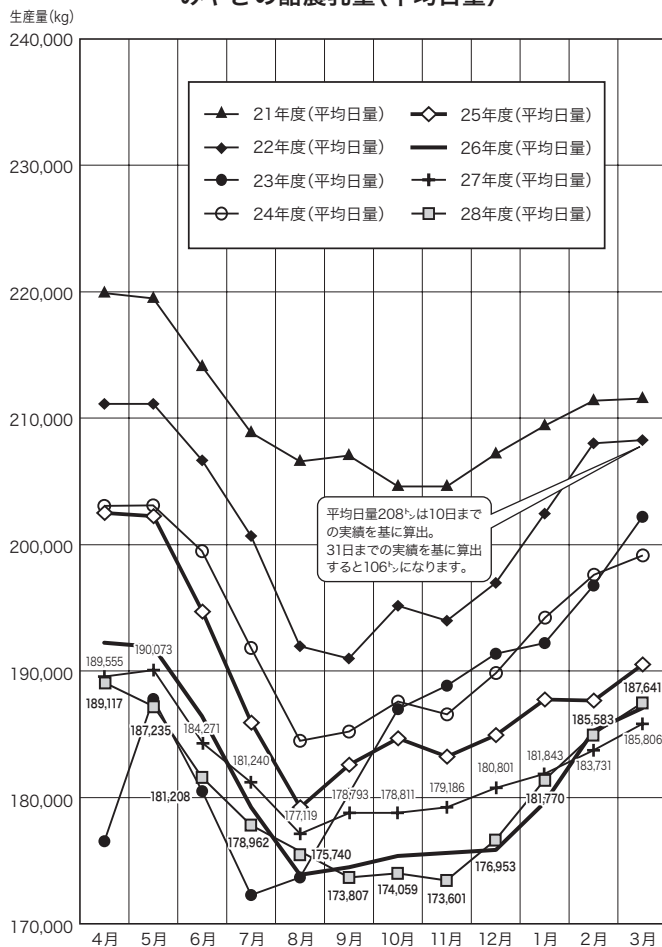
(単位:ト、%)

団体名	四半期別	第1四半期	前年比	第2四半期	前年比	第3四半期	前年比	第4四半期	前年比	平成28年度計	前年比
みやぎの酪農		16,928	99.3	16,130	98.1	15,997	96.9	16,652	100.1	65,707	98.6
全農宮城		4,710	97.6	4,436	96.9	4,321	96.9	4,352	94.2	17,819	96.4
宮城酪農		8,212	95.5	7,832	96.2	7,727	95.5	7,951	98.0	31,722	96.3
宮城県		29,850	98.0	28,398	97.4	28,045	96.5	28,955	98.6	115,248	97.6

5. みやぎの(バルク乳量)

4月～3月の受託乳量は65,861ト、前年同期比98.5%と前年を1.5%下回りました。また、3月の出荷戸数は294戸と前年より12戸減少しました。

みやぎの酪農乳量(平均日量)



平成28年度生乳生産実績(4月～3月 標準進捗率100%)

(単位:kg、%)

支 部 名	戸数	バルク乳量	前年同期乳量	前年同期比	計画生産数量	進捗率
白石支部	22	6,377,406.8	6,425,824.2	99.25	6,494,843.0	98.19
七ヶ宿支部	6	2,273,342.1	2,148,757.2	105.80	2,174,102.0	104.56
蔵王支部	26	8,182,327.7	8,116,325.4	100.81	8,212,058.0	99.64
柴田支部	18	4,220,418.0	4,260,773.0	99.05	4,257,156.0	99.14
角田支部	7	2,130,268.9	2,015,352.0	105.70	2,039,124.0	104.47
丸森支部	13	3,181,590.6	3,359,298.4	94.71	3,398,921.0	93.61
仙台支部	12	3,851,186.9	3,604,474.5	106.84	3,646,989.0	105.60
名取支部	6	954,344.0	919,595.0	103.78	930,442.0	102.57
黒川支部	8	1,477,758.0	1,832,081.0	80.66	1,664,966.0	88.76
大崎支部	22	3,600,401.0	3,551,030.0	101.39	3,574,182.0	100.73
遠田支部	17	5,903,736.0	5,722,319.0	103.17	5,739,991.0	102.85
加美支部	20	2,796,775.0	3,121,179.0	89.61	3,157,996.0	88.56
鳴子支部	14	2,311,817.0	2,382,486.0	97.03	2,410,587.0	95.90
一迫支部	12	2,976,633.0	3,178,068.0	93.66	3,215,554.0	92.57
築館支部	15	2,081,444.0	2,244,928.0	92.72	2,262,090.0	92.01
瀬峰支部	9	1,355,331.0	1,478,213.0	91.69	1,495,649.0	90.62
迫支部	13	3,694,989.0	3,675,246.0	100.54	3,718,595.0	99.37
中田支部	9	1,421,798.0	1,361,935.0	104.40	1,377,999.0	103.18
東和支部	7	1,234,599.0	1,300,717.0	94.92	1,316,060.0	93.81
志津川支部	9	1,251,365.0	1,170,049.0	106.95	1,179,025.0	106.14
本吉支部	11	1,062,779.0	1,253,985.0	84.75	1,268,777.0	83.76
石巻支部	6	1,111,679.0	1,224,863.0	90.76	1,239,311.0	89.70
豊里支部	12	2,409,503.0	2,481,316.0	97.11	2,510,583.0	95.97
みやぎの酪農	294	65,861,492.0	66,828,814.7	98.55	67,285,000.0	97.88

※出荷戸数については、直近の数字です。

酪農研修会「長命連産に向けて②」報告

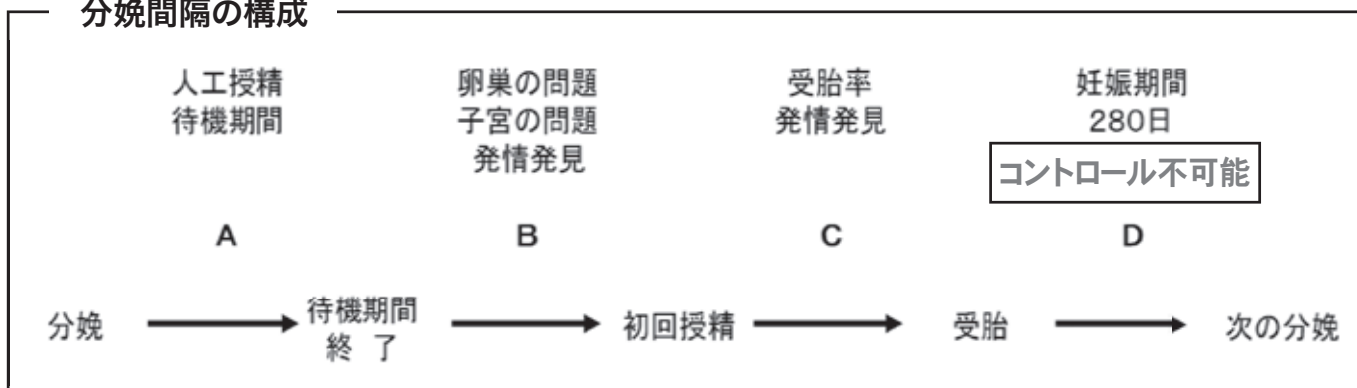
前号に引き続き、1月18・19日に行われました酪農研修会「長命連産にむけて」の報告です。講師は全酪連 成田修司技術顧問です。日頃の管理をチェックされることをお勧めします。

■積極的な繁殖管理

牛群の分娩間隔が長くなると、搾乳日数が長くなり、その結果、搾乳牛1頭当たり乳量/日が低くなり、経済的損失が大きくなります。原因を探して、その問題を解決するのが最も重要です。

繁殖成績は、移行期の健康状態が大きく影響しますので、前泌乳期と乾乳期からのコントロールが重要になります。BCS3.0～3.5で乾乳しそのBCSを維持し、乾乳期間中の存在する各要因をコントロールします。

分娩間隔の構成



分娩間隔が長い場合、上記のどの期間が長いかを確認します。まず問題が存在するという単純な認識が、最初の重要なステップです。

待機期間終了から初回授精までの「B」の期間が長い場合は、「子宮の問題」「卵巣の問題」「発情発見」をチェックし、初回授精から受胎までの「C」の期間が長い場合は、「受胎率」「発情発見」をチェックします。

(「子宮の問題」「卵巣(周期活動)の問題」の対応は、前号の「分娩後の管理」参照)

初回授精前の発情発見は、初回発情の記録、周期の確認、発情予定日の観察がポイントになります。積極的な管理としては、初回授精までの分娩後日数のコントロール戦略に高い優先順位をおくことです。授精待機期間からある時点までに授精するようし(精液を注入しなければ妊娠しない)、できなかった場合、その時点から確実に10日以内に授精出来るように、プログラムを設定し(オブシンク+CIDR等)、授精します。

初回授精後は、授精間隔を42日以上にしない、人工授精後21～25日での発情の確認、空胎と確認された後の早期再授精がポイントになり、授精間隔は発情発見の向上で短縮します。

受胎率は、牛側要因(エネルギーバランス、ボディコンディション、生殖器状態、一般的健康状況、年齢、真の発情)、環境要因(気温、換気、ストレス、分娩場所)、授精要因(真の発情への授精、授精タイミング、精液保管、精液の取扱い、授精衛生、精液の注入部位、精液品質、種牛の受胎率)により影響されます。高い受胎率は、「多くのことを正しく行う」ことの結果であり、「細部への関心」が改善のヒントになります。

上記の項目と合わせ、次の管理項目を確認・実施検討すべきです。

- ① 獣医師と協力して、モニター・分析できるようなシステムを構築する。
- ② 記録の管理
- ③ 問題牛の識別(子宮と卵巣の問題、空胎鑑定)
- ④ リアルタイムな分析・評価(最近の初回授精日数、受胎率、発情発見率)
- ⑤ 牛群の全体像の評価(施設や環境(安楽性)、栄養(乾物摂取量)、生産、健康状態)

■乳房炎の抑制

乳房炎を個体にたまたま発生した病気と考えて、その牛を治療しても問題の解決にはならないです。

乳房炎は「牛群の問題」であり、乳牛個体の問題ではないので、新しい乳房感染を防ぐことに努力すべきです。

乳房炎対策の5原則

- 乳房を清潔に保つ。
- 正しい搾乳手順を採用する。
- 搾乳器械を正しく維持し、使用する。
 - 年に1－2回の点検。
 - ライナーの交換(ゴムは1500搾乳)。
- 伝染性病原菌に対する生物学的安全性を維持する。
 - 搾乳順序を考える。
 - 導入牛や初産分娩牛には注意しなければならない。
- 適正な乾乳牛管理を実践する。
 - 乾乳期治療と牛を清潔に保つ。

その他の重要な点

- 臨床型乳房炎を適正に治療する。
 - 培養検査で原因菌を知る。
- 記録管理を維持する。
 - 治療記録を残す。
- 乳房の健康をモニターする。
 - 問題の早期識別(前搾り/PLT検査)
 - 牛群検定情報の活用
 - バルク乳スクリーニング・テスト
- 乳房炎抑制プログラムを定期的に見直す。
 - 定期的にメーカー・農協・獣医師・普及員などの意見を求める。
- 乳房の健康のために目標設定する。
 - 体細胞数(SCC) 20万/ml以下
 - 牛群でリニアスコア5(30万)以下の牛 85%以上

参考:搾乳前準備方法と細菌減少率

搾乳前準備方法	細菌減少率
乾いたタオルのみ	－4%
濡れたタオルのみ	－40%
殺菌剤に浸した濡れたタオルのみ	－40%
濡れたタオルと拭き取り	－77%
殺菌剤に浸した濡れたタオルと拭き取り	－85%
プレディップと拭き取り	－85%

(Hoard's Dairyman, Vol.199, No.11, June.2004)

最高の作業でも、乳頭の細菌の85%しか除去できておりません。

ストールの清潔さと搾乳機械の維持管理が重要となります。

■蹄の健康管理

乳牛は重い体重を4本の肢、しかも小さな面積で支えております。蹄の痛みは、乾物摂取量が減少し生産性(乳量・乳質)や健康(繁殖)に大きく影響し、最終的に淘汰につながる可能性があります。跛行牛は急速に慢性疾患となるので、早期発見/治療が重要です。「跛行」とは蹄疾患などが原因で、正しい歩行ができないことをいいます。

自然の移住環境(放牧地)では、蹄は伸びるにつれて摩耗しますが、施設管理では定期的な削蹄が必要です。削蹄には、感染に対する抵抗性、運動性そして外形など、最終的に牛の能力に影響する多くの要素があります。

起立時間と糞尿への暴露を最小限にすることが、蹄底潰瘍/白線病/趾間皮膚炎を予防します。起立時間を減らすことで、角質生産組織への体重負荷を取り除くことが出来るので、蹄底潰瘍が減少します。

代謝障害・移行期問題も、跛行に大きく影響しますので、体脂肪動員量などに注意し、計算上の飼料/特定の栄養素だけでなく、飼槽スペース、粗飼料の品質、飼料給与のタイミングなど採食行動に影響する要素も重要です。採食パターンの変化は、牛の代謝状態を混乱させる可能性があり、起立時間を長くする環境があれば、跛行につながります。

農場では多くの要因が跛行を引き起こし、カウコンフォート問題、稀な削蹄、不十分な栄養、給餌戦略の悪さ、動物の行動およびストレスなどがあります。跛行の予防では、定期的な削蹄、フットバス(清潔・殺菌)、乾燥した通路、清潔で乾燥したストールが重要です。



資料提供:全酪連 仙台支所

牛群検定は専門の検定員が毎月1回酪農家を訪問し、1頭毎の乳量、乳成分、繁殖、濃厚飼料状況などの基本情報を得て経営改善や生産性の向上に役立てる事業です。

昨年7月から本誌で定期的に牛群検定農家の優良事例を紹介させていただいてきましたが、今回は事例紹介を一旦お休みし、牛群検定のツールのひとつである「繁殖台帳Webシステム」についてご紹介します。

●繁殖台帳Webシステムとは

牛群検定情報をインターネットを通じて自宅のパソコンを始め携帯電話・スマートフォン・タブレット等でリアルタイムに牛群検定成績を利用出来るツールで、検定成績をより詳細に利活用出来るシステムです。牛群検定の機能を活かすアイテムとして、繁殖台帳Webシステムを利用することは、パソコンの機能により紙の検定成績表では実現出来なかった多くの機能を利用出来る、まさに総合的な牛群管理システムとも言えるものです。しかも、検定農家をはじめとする牛群検定関係者は「無料」で利用出来ます(利用費用は検定負担金に含まれています)。



●繁殖台帳Webシステムの具体的な画面の一例

繁殖台帳Webシステムでは繁殖データをはじめとする乳量、乳成分、体細胞、MUNなど諸々の情報を利用出来ます。

これらの情報を、工夫を凝らしたパソコン画面で見ることが可能です。

①繁殖カレンダー

これは繁殖台帳Webシステムの第1画面ともいえるべき最も基本となる画面です。検定成績表ではどうしても牛毎の個体管理という利用に留まりがちですが、この繁殖カレンダーは、検定成績表から自動的にデータを読み込み、群としての酪農家のスケジュール管理を実現しているのです。メモ機能もあるので、牛舎作業を調整して行事を書き込む等、手帳としての利用も可能です。

また、印刷機能もあるので、自宅のプリンタで印刷し、牛舎に張っておく等して活用することも可能です。

②繁殖疾病台帳

繁殖台帳Webシステムでは生涯にわたる分娩、乾乳、授精などの繁殖履歴を一括管理する事も出来ます。妊娠鑑定や周産期疾病などを牛群検定データと合わせて管理出来るようにデータの入力が可能になっています。

③その他(乳量、乳成分、体細胞など)

上記以外にも、当然、乳量・乳成分といった産乳能力や、体細胞、MUN、P/F比等のデータも見ることが出来ます。また、体細胞数が管理出来る「体細胞グラフィック」や繁殖管理の決定版の「実空胎日数グラフ」「生乳生産予測」等々盛りだくさんです。

●最後に

繁殖台帳Webシステムは検定農家毎のIDとパスワードで管理されています。検定加入農家の方でこのシステムを知らなかった方、パスワード等忘れてしまった方は所属する検定組合に問合せの上、是非体験してみてください。また、検定未加入の方でも興味を持たれた方は家畜改良事業団ホームページ(<http://liaj.lin.gr.jp/>)に繁殖台帳Webシステムの体験版がありますのでどうぞ試して見て下さい。

※体験版ログインID:D000000002、パソコン版パスワード:D000000002、携帯電話版パスワード:00002

(文責:宮城県農林水産部畜産課 植田)

牛群検定には6ヶ月間無料で体験できるお試し検定事業があります。
牛群検定を始めてみようかな、と思われた方は下記までご相談下さい。

- | | | |
|--------------|----------------------|-------------------|
| ・宮城県ホルスタイン協会 | ((一社) 宮城県畜産協会内) | TEL: 022-298-9750 |
| ・県南乳用牛群改良組合 | ((一社) 宮城県畜産協会仙南事業所内) | TEL: 0224-52-2523 |
| ・県北乳用牛群改良組合 | ((一社) 宮城県畜産協会中央事業所内) | TEL: 0229-34-3304 |

①ビートパルプ

16年産の製糖及びペレット生産は間もなく終了の予定です。シーズン当初の見込みに比べて、ペレットの生産量は大幅な下方修正となっています。春先の温暖な気候のために廃棄せざるを得ない原料大根も発生しており、減産幅は更に大きくなっている模様で、日本市場への影響が懸念されます。

新穀については、4月中旬より日本向けの主力産地であるミネソタ州、ノースダコタ州で新穀の作付が始まりました。北部の地域では降雨が多く、昨年の同時期に比べ20～30%程度の作付の進捗となっており、今後の動向が注目されます。

②アルファルファ

今冬が非常に寒いシーズンとなったため、主産地コロンビアベースンでは、アルファルファの生育が昨年より2～3週間程遅れています。1番刈の収穫は、例年よりもやや遅い5月中旬以降から本格的にスタートする見込みです。

産地の在庫の状況は、ほぼ成約済みで余剰はないようです。肉牛向け低級品の出荷が例年以上に多く、堅調な中国向けの出荷も余剰在庫の少なさに拍車をかけているようです。

作付面積については、16年産のアルファルファ相場の低迷の影響もあり前年並みからやや減少するものと見込まれております。

③チモシー

(A)US産

16年産の産地在庫はほぼ成約済となっております。17年産は各生産地で5～10%程度作付が増えているようです。産地価格については、旧穀の在庫がないことから新穀スタート時には昨年比で値上がりが確実とされています。慎重に相場形成が進むものと思われます。

コロンビアベースンの多くの圃場では、例年並みの6月中旬から下旬に刈り取りスタートになると見込まれています。同様に、エレンスバーク地域でも現時点では例年並みの収穫スケジュールで進むと思われる、7月上旬に刈り取りが開始される見込みです。

(B)カナダ産

旧穀の出荷は順調に推移し、生産農家は17年産の作付に関して、前向きな姿勢を示しています。

競合する作物等の価格は依然として相場が芳しくないため、このまま他の作物価格の低迷が続けばチモシーの作付は大きく変動しない可能性があります。

④豪州産オーツヘイ

2月の牧草輸出量は過去最高を記録しています。その要因は中国向けで、日本向け韓国向けも堅調であることから、各サプライヤーの工場はフル稼働が続いています。

西豪州、南豪州では1～3月までは降雨が多く、5月から始まる新穀の播種を前に十分な土壌水分があると見込まれていましたが、4月は一転して降雨がほとんどない状況となっています。東豪州は4月以降も例年並みの降雨があり、こちらは順調に作付けが進むと見込まれています。しかし、エルニーニョ現象が発生すると旱魃傾向になることから、今後の播種に向け、その動向が気になるところです。

以上このような状況の中、飼料等の安定供給に努めてまいります。組合員の皆様には、購買事業にご理解を賜り、ご利用くださいますようお願い申し上げます。

暑熱対策添加剤キャンペーン！

今年も6月から8月にかけて重曹・ビタミン・カビ吸着材等のキャンペーンを予定しております。

乳牛の健康管理・さまざまなストレスに対し、ぜひご利用下さい。



ホームページへのグループウェアの構築について 指導課

平成29年度の初妊牛導入事業は、自己所有の初妊牛を組合員間で売買した場合、販売した組合員に対して助成することになりました。情報収集と情報提供の場としてホームページを活用できるように現在、ホームページ上にグループウェアを作成中です。

後日、組合員の皆様にはホームページにログインするためのIDとパスワードを配付いたします。

ホームページの活用が難しい方は、指導担当者を通して対応していきますのでご相談ください。



みやぎの酪農農業協同組合
Miyagi Dairy Farming Cooperative

2014/03/02
ホームページを公開しました。

みやぎの酪農農業協同組合
みやぎの酪農農業協同組合 No. 70 No. 71 No. 72
No. 73 No. 74 No. 75
No. 76 No. 77 No. 78
No. 79 No. 80 No. 81
No. 82 No. 83 No. 84
No. 85 No. 86 No. 87
No. 88 No. 89 No. 90
No. 91 No. 92 No. 93

組合のご紹介
皆さん、毎日牛乳を飲んでいますか？牛乳は国内で最も消費されている畜産品です。牛乳はその時期に採られている飼料によって味が異なります。よく北海道の牛乳をスーパーなどで目にしますが、その地域で生産された牛乳が一層新鮮な味です。品質も他の地域と変わりません。皆さんの健康の一助となりますので、ぜひ県内産の牛乳をご賞味下さい。

牛乳売買情報交換の広場
みやぎの酪農農業協同組合内で、産まれたての子牛の引き取り手を見つけられる事ができます。また、種牛や成育牛の購入に、しっかり設立していただくことができます。

牛乳売買情報交換の広場 大目
ここをクリックし、ID・パスワードを入力ください。

牛乳と買い手
マッチング
売り手 買い手
会員登録

ホームページ上に今後、この部分が追加される予定です。
クリックするとIDとパスワードの入力画面へ移動し、
初妊牛や子牛の情報等が閲覧できるようになります。

理事会通信

総務課

【第12回理事会】

開催日 平成29年3月30日

- 付議事項
- | | |
|-------|--|
| 第1号議案 | 平成28年度決算基準(案)について |
| 第2号議案 | 平成28年度決算推定について |
| 第3号議案 | 総務委員会及び業務委員会からの答申について
(平成29年度事業計画(案)について) |
| 第4号議案 | 理事会推薦理事候補者の推薦について |
| 第5号議案 | 平成29年度借入金の最高限度の決定について |
| 第6号議案 | 平成29年度貸付金の利率の最高限度の決定について |
| 第7号議案 | 平成29年度同一人に対する信用供与の最高限度の決定について |
| 第8号議案 | 平成29年度の余裕金の運用について |

【第1回理事会】

開催日 平成29年4月28日

- 付議事項
- | | |
|-------|--------------------|
| 第1号議案 | 監事に提供する決算書類の承認について |
|-------|--------------------|

3月 1日	東北生販生乳受託販売委員会 DMS相談会	仙 台 市
3月 2日	宮城県酪農団体合理化検討会第2回委員会 (一社)Jミルク臨時総会	仙 台 市
3月 3日	青年部石巻支部交流会(ボウリング大会) 青年部本吉支部研修会	東 京 都
3月 6日	日本酪農政治連盟合同委員会・総会 L I A J酪農講演会	石 巻 市
3月 7日	みやぎまるごとフェスティバル事務局会議	南 三 陸 県
3月 8日	平成28年度酪農経営支援総合対策事業推進全国会議 東北生販理事会	東 京 都
3月 9日	DMS相談会 宮城県酪農協会酪農婦人研修会 ～10日	岩 手 市
3月10日	DMS相談会	仙 台 市
3月13日	乳用牛群検定普及定着化事業研修会 宮城県酪農団体合理化検討会第3回委員会 酪農ヘルパー要員技術研修会 ～14日	仙 台 市
3月14日	県東部地方振興事務所管内畜産担当者会議 購買・指導担当職員研修会 会計検査院4局農林水産検査第3課会計実施検査説明会	仙 台 市
3月15日	畜舎環境美化コンクール表彰式・研修会 宮城県北部家保畜産担当者会議 学校給食用牛乳供給推進協議会	仙 台 市
3月16日	東北生販事業推進委員会	仙 台 市
3月17日	全酪連仙台支所管内ブロック会議	仙 台 市
3月18日	本吉支部親睦グランドゴルフ大会	仙 台 市
3月21日	決算研修会 (一社)宮城県畜産協会理事会 生乳成分検査の適正化に係る打合せ 第2回宮城県酪農団体合理化検討会 東北酪農発表大会 ～22日	名 取 市
3月22日	監事決算研修会 東北生販臨時総会・理事会・監事会	仙 台 市
3月23日	牛乳職人倶楽部勉強会 (一社)中央酪農会議理事会・臨時総会	大 東 都
3月24日	遠田支部役員会 (一社)全国酪農協会役員会	本 京 都
3月28日	宮城県牛乳普及協会事務局会議	本 京 都
3月29日	青年部研修会 白石刈田地区酪農組合連合会総会・講習会 登米地区家畜事故対策地区協議会	大 河 原 町
3月30日	宮城県農協中央会臨時総会 第12回理事会 青年部仙台支部ボウリング大会 日本酪農政治連盟宮城県支部連合会総会	仙 台 市
3月31日	現品棚卸監査	仙 南 支 所
4月 3日	現品棚卸監査 丸森支部総会 大崎支部総会	本 丸 森 町
4月 4日	角田支部総会 築館支部総会	大 崎 市
4月 5日	1区・区域推薦委員会	栗 原 市
4月 6日	2区・区域推薦委員会	仙 南 支 所
4月 7日	3区・区域推薦委員会	登 米 事 業 所
4月10日	瀬峰支部総会	栗 原 市

4月11日	一迫支部総会	大	崎	市
4月13日	会計検査院会計実施検査 飼料増産シンポジウム	本	京	所
4月14日	鳴子支部総会 蔵王町酪農組合連合会総会・講演会 (一社)全国酪農協会役員会 (一社)全国酪農協会講演会・ネットワーク委員会	東	崎	都
4月17日	志津川支部総会 石巻支部総会 平成29年度畜産みやぎ上半期編集委員会	蔵	王	町
4月18日	遠田支部総会 上原酪農組合総会 白石支部総会	東	京	都
4月19日	迫支部総会 中酪生乳流通体制合理化推進事業等説明会	東	三	陸
4月20日	気仙沼市本吉放牧場入魂式・入牧式 Jミルク平成29年度ブロック会議	南	三	陸
4月21日	第1回支部長会議	石	巻	市
4月24日	大崎畜産振興協議会総会 蔵王支部総会 中田支部総会	仙	台	市
4月25日	豊里支部総会 東和支部総会	涌	谷	町
4月26日	宮城県酪農団体合理化検討会第1回委員会	大	崎	市
4月27日	加美支部総会 本吉支部総会 宮城県北部家保管内畜産担当者会議 宮城県肉用牛改良推進大崎地域対策会議	白	石	市
4月28日	第1回理事会 (株)みやぎの運送取締役会	登	米	市
		東	京	都
		気	仙	沼
		仙	台	市
		本		所
		大	崎	市
		蔵	王	町
		登	米	市
		登	米	市
		登	米	市
		本		所
		加	美	町
		気	仙	沼
		大	崎	市
		大	崎	市
		本		所

人事のお知らせ

区 分	氏 名	新 職	旧 職	発 令 日
正 職 員	熊 谷 悟	哺育育成センター生産係	哺育育成センター生産係 (有期契約職員)	平成29年4月1日

◎平成29年3月31日付け

哺育育成センター所長 佐藤 広幸さんが定年退職されました。長い間ご苦労さまでした。

なお、4月1日付け有期契約職員（定年退職者再雇用）として、引き続き業務に従事していただいております。

[編集後記]

私事です。先日、自分の中での節目の年齢をむかえました。この年齢になるまで！と夢に描いていたことがありました。しかし、実現はほど遠いもので、実際は別の形になりました。“夢とは、頭の中でイメージするもの目標とは、目に見える標(しるべ)”だそうです。これからの新たな夢は、小さな目標へかえてひとつずつ取り組んでいこうと思います。

発行

遠田郡美里町北浦字道祖神前16

みやぎの酪農農業協同組合

TEL.(0229)34-2311(代表)